

IX 資料編

こまき市民討議会まちづくりミーティング2013の実施に関する協定書

一般社団法人小牧青年会議所（以下「青年会議所」という。）と小牧市（以下「市」という。）は、こまき市民討議会（以下「市民討議会」という。）を協働して実施するに当たり、次のとおり協定を締結します。

なお、この業務において、青年会議所及び市は、「まちを育む市民と行政の協働ルールブック」に規定する事項を遵守し、協働してこの事業に取り組みます。

1. 協定の目的

この協定は、「市民討議会」の実施及びその手法の効果の検証並びに評価に関し、青年会議所と市との関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

2. 協働に関する原則

青年会議所と市は、協働の精神に基づいて、次の原則を遵守します。

- (1) 両者が対等なパートナーの関係を保つよう心がけます。
- (2) 両者の立場を理解し、尊重し、自由に意見を交換できる関係を作ります。
- (3) 両者の活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報や市民討議会の実施のために利用し、保護に配慮しながら、協働の過程や結果を情報公開し、市民に理解が得られるよう努めます。
- (5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性と柔軟性・先進性のバランスを取り、両者の納得がいく形で市民討議会を実施します。
- (6) 市民討議会の手法の効果について、ともに検証し、評価します。
- (7) 市民討議会の成果を広く市民に公開します。

3. 役割と責務

- (1) 青年会議所の役割と責務は、次のとおりとします。

ア 広報活動等に関すること。

青年会議所は、市民討議会を広く周知するため、広報活動を行います。

イ 報告書の作成に関すること。

青年会議所は、市民討議会内容及びその手法について報告書にまとめ、今後の活動に活かすように努めます。

ウ 個人情報の保護に関すること。

青年会議所は、市民討議会を実施する上で知り得た情報のうち、プライバシーに関するものについて、個人情報の保護を行います。

エ 経費の負担に関すること。

青年会議所は、別に定める経費を負担します。

オ 運営に関すること。

青年会議所は、市民討議会の研究・学習を行い、運営を担います。

(2)市の役割と責務は、次のとおりとします。

ア 広報活動等に関すること。

市は、市民討議会を広く周知するため、広報紙等を活用し、広報活動に努めます。

イ 対象市民のリストの抽出と案内文書の送付等に関すること。

市は、市民の中から無作為抽出を行い、抽出した市民への案内文書の送付及び参加者のとりまとめを行います。

ウ 情報提供に関すること。

市は、青年会議所に対し、市民討議会実施に必要な情報を可能な範囲内で提供します。

エ 場所の提供に関すること。

市は、市民討議会会場及び開催に必要な会議室等の場所を提供します。

オ 経費の負担に関すること。

市は、別に定める経費を予算の範囲内で負担します。

カ 報告書の検討に関すること。

市は、3(1)イの報告書の内容を真摯に検討し、市政に活かすよう努めます。

4. 協定の有効期限

この協定は、青年会議所と市との合意をもって発効し、平成25年12月31日を有効期限とします。

5. その他

この協定に定めのない事項で、市民討議会を実施する上で必要と認められるものについては、青年会議所と市が協議して定めるものとします。

この協定を証するため本書2通を作成し、各々1通を保有します。

平成25年4月22日

愛知県小牧市小牧五丁目253番地

小牧商工会議所会館5階

一般社団法人 小牧青年会議所

理事長

中野 康孝

愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

小牧市

小牧市長

山下 史守朗

平成25年8月吉日

各 位

一般社団法人小牧青年会議所 理事長 中野 康孝
小牧市長 山下 史守朗

「こまき市民討議会まちづくりミーティング2013」参加のご案内

残暑の候、益々ご清栄のことお喜び申し上げます。

さて、このたび、一般社団法人小牧青年会議所と小牧市は、「こまき市民討議会まちづくりミーティング 2013」を開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

こまき市民討議会は、これまで市政やまちづくりに声を届ける機会の少なかったサイレントマジョリティ（＝「物言わぬ大勢」）と言われる市民の参加を促し、住民自治意識の醸成を目指す取り組みとして、昨年10月に初めて開催し、多くの市民の皆様にご参加をいただき、身近なテーマについて討議していただきました。

今回、2回目となる「こまき市民討議会まちづくりミーティング 2013」を開催するにあたり、幅広く参加者を募集するため、20歳以上の小牧市民の中から2,000人の方を無作為抽出し、ここに本討議会への参加のご案内を郵送させていただきました。

つきましては、お忙しい中とは存じますが、下記の内容をご一読の上、お気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時

平成25年10月27日（日）

10:00（受付開始9:30）～16:30

※昼食は希望者のみ実費負担にて、ご用意させていただきます。

2. 場 所

小牧市公民館 講堂（小牧市小牧二丁目107番地）

3. 募集定員 40名

4. 討議（話し合い）のテーマ

（1）地域（市民）で考える防災・減災について

（2）小牧の魅力・愛着について

5. 討議（話し合い）の進め方

参加者をグループに分け、テーマに沿った意見を出し合ってもらい、グループ毎に意見をまとめていただきます。

（裏面に続く）

6. 謝 礼

ご参加いただいた謝礼として、3,000 円をお支払いします。
(所得税・復興特別税分を差し引いております。)

7. 参加条件

無作為抽出で本案内を送付されたご本人様のみとさせていただきます。

8. 参加、不参加の確認

◇参加を承諾される場合 ⇒参加承諾書等の送付(別添様式)

お手数をお掛けしますが、別添の①参加承諾書と、②「参加承諾者の方へ」のアンケートに必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒により、**平成25年9月13日(金)(必着)**までに返送くださいますようお願い申し上げます。

◇参加を希望されない場合 ⇒アンケートの送付(別添様式)

参加を希望されない場合は、お手数をお掛けしますが、別添の③「不参加の方へ」のアンケート用紙にご記入の上、同封の返信用封筒により、**平成25年9月13日(金)**までに返送くださいますようご協力をお願い申し上げます。

9. 参加者への連絡

参加承諾書を返送いただいた方へは、当日の詳細などについて、後日(9月末頃)郵送で連絡させていただきます。

なお、参加を承諾された方が40名を超えた場合は、抽選にて参加者を決定させていただきますのでご了承ください。

10. 報道提供等

討議会当日の様子は報道機関等に提供し、小牧青年会議所ホームページ、小牧市ホームページ、広報こまき、新聞等に掲載する場合がございますので、ご了承ください。

11. その他

ご不明な点がございましたら、下記まで連絡ください。

一般社団法人小牧青年会議所 (市民討議会担当) 小牧市小牧5丁目253番地 (小牧商工会議所会館5階) TEL 0568-72-0496 FAX 0568-72-1950 受付時間:(平日)10時~15時
--

小牧市役所 市長公室 協働推進課 広聴係 小牧市堀の内3丁目1番地 TEL 0568-76-1107 FAX 0568-75-5714 受付時間:(平日)8時30分~17時15分
--

※無作為抽出による参加案内に使用した個人情報、小牧市において厳重に管理し、「こまき市民討議会」の実施目的以外には使用いたしません。

参加承諾書

平成 年 月 日

私は、平成25年10月27日（日）開催の「こまき市民討議会まちづくりミーティング2013」に参加することを承諾します。

ご本人が直接ご記入くださいますようお願いいたします。

フリガナ

お名前 _____ (男 ・ 女) (満 _____ 歳)

ご住所 小牧市

電話番号 _____

※日中、連絡が取れる電話番号をお願いします。(携帯電話可)

(その他)

昼食は希望者のみ実費負担にて、ご用意させていただきます。

昼食の手配を希望しますか(実費500円) (はい いいえ)

※承諾書に記載された内容については、「こまき市民討議会」の実施目的以外には使用いたしません。

平成25年9月13日(金)(必着)までに返送くださいますようお願い申し上げます。

参加承諾者の方へ（事前アンケートのお願い）

1. 以下の項目について、適当と思われるものに☑をお付けください。
2. （複数回答可）とあるもの以外は、選択肢1つを選んで☑をお付けください。
3. 「その他」に☑をした方は、（ ）にその他の事由をご記入ください。

1. 基本情報

① あなたのお仕事について

- 自営業 会社員 公務員 専業主婦・主夫 パート
家事手伝い学生 無職 その他（ ）

②あなたの年齢について

- 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

③ 小牧にお住まいになって何年ぐらい経ちますか？

- 1年未満 10年未満 20年未満 20年以上

④ 参加依頼書を受け取った時、どう思いましたか？

- 選ばれてうれしく思った 興味をもった
なぜ自分が選ばれたか不思議に思った なんだかよく分からなかった
その他（ ）

2. 開催について

① 「市民討議会」という市民参加の手法について

- 案内が来る前から知っていた 案内が来る前から聞いたことがあった
案内が来て初めて知った

② こまき市民討議会「まちづくりミーティング2013」をどのように知りましたか。（複数回答可）

- 広報こまき 市ホームページ 施設等のチラシ、ポスター
参加の案内 新聞 知人から聞いた
その他（ ）

③ 無作為抽出して参加案内を送付することについて

- 無作為抽出の方法はよいと思う 公募がよいと思う
その他（ ）

④ 日数について

- 1日間が適当 2日間が適当 もっと長い方がよい（3日以上）

⑤ 開催する曜日・時間について（複数回答可）

- 土日の昼間がよい 土日の夜間がよい 平日の昼間がよい
平日の夜間がよい 両日ともどの曜日・時間でもよい

⑥ 開催する時期について

- 1～3月頃がよい 4～6月頃がよい 7～9月頃がよい
10～12月頃がよい どの時期でもよい

＜裏面へつづ＞

3. ご承諾いただいた理由について（複数回答可）

- 無作為抽出により選出され参加依頼書が届いたから
- テーマに興味があったから
- 参加者への謝礼があったから
- 会場が近かったから
- 市民活動を始めてみたいと思ったから
- 討議した意見が市政に届けられるから
- その他（）

4. 参加者への謝礼について（1日間の開催として）

- 1千～2千円程度が適当
- ちょうどよい（3千円）
- 3千円では不十分
- 謝礼は必要ない

5. 行政や地域との関わりについて

- ① あなた自身は、行政への市民参加に関心がありますか。
非常にある 多少ある ほとんどない まったくない
- ② あなたは、今まで地域における市民活動に関わったことはありますか。
ある ない
- ③ ②で「ある」に☑をした方のみお答えください
この1年間に地域の活動（自治会、地区協議会、ボランティア活動、NPO活動、サークル等の生涯学習活動など）に参加したことがありますか。
ほぼ毎日参加している 週に1回から月に1回程度参加している
年に数回程度参加している ほとんど参加していない
- ④ あなたは、これまでに行政が市民を対象に実施する審議会や委員会、住民説明会、パブリックコメント、アンケート調査などに参加したことはありますか。
ある ない
- ⑤ 無作為抽出などにより市民参加を直接的に呼びかける方法は、市民の市政への参加意識を高めることに効果があると思いますか。
ある ない どちらともいえない

6. その他

- ① あなたは（一社）小牧青年会議所をご存知でしたか。
知っていた 聞いたことがあった 知らなかった
- ② あなたは（一社）小牧青年会議所が主催する事業を知っていますか。
（複数回答可）
青少年育成事業（参考：「CHALLENGE THE Mt.富士」、「サマーキャンプ2011 in モミの木キャンプ場」など）
小牧山ランドマークフェスタ 公開討論会
知らない

ご協力ありがとうございました。

3. 行政や地域との関わりについて

① 小牧市の市政や地域の課題に関心がありますか。

- 非常にある
- 多少ある
- ほとんど無い
- 全く無い

② 市民の参加により、政治や政策がより良いものになると思われますか。

- 非常に良くなると思う
- 多少良くなると思う
- ほとんど変わらないと思う
- 全く変わらないと思う

③ 今後もこういった取り組みを続けるべきだと思いますか。

- 今後も続けるべき
- 今後はやめるべき
- やり方を見直して続けるべき

※「やり方を見直して続けるべき」を選択された方は、日程や謝礼などの見直しの内容を具体的にご記入ください。

()

4. その他

① あなたは（一社）小牧青年会議所をご存知でしたか。

- 知っていた
- 聞いたことがあった
- 知らなかった

② あなたは（一社）小牧青年会議所が主催する事業を知っていますか。

（複数回答可）

- 青少年育成事業(参考：「CHALLENGE THE Mt.富士」、「サマーキャンプ 2011 in モミの木キャンプ場」など)
- 小牧山ランドマークフェスタ
- 公開討論会
- 知らない

ご協力ありがとうございました。

こまき市民討議会

まちづくりミーティング2013

日時：平成25年10月27日(日)午前10時00分～午後4時30分
会場：小牧市公民館 講堂



(写真：こまき市民討議会まちづくりミーティング2012)

あなたの声をお聞かせください!

市民討議会のすすめ方

- ・少人数に分かれてテーマに沿ってグループ討議を行います。
- ・グループごとに出された意見について、全員で投票します。



**8月下旬、
参加案内が届きましたら
ぜひご参加ください!**

市民が市政やまちづくりに参画する試みとして、(一社)小牧青年会議所の企画運営により『こまき市民討議会まちづくりミーティング2013』を小牧市と協働で開催します。

多様な市民の潜在的な声を聴くため、無作為に抽出した20歳以上の小牧市民2,000人に参加案内をお送りし、討議会への参加をお呼びかけいたします。

参加案内が届きましたら、ぜひご参加ください。(参加者定員40人予定)

お問い合わせ先 (「こまき市民討議会」は(一社)小牧青年会議所と小牧市の協働事業です。)

事務局：(一社)小牧青年会議所
〒485-0041
小牧市小牧五丁目253番地
小牧商工会議所会館5階
TEL：0568-72-0496 (平日10:00～15:00)
FAX：0568-72-1950

市役所担当課：市長公室協働推進課
〒485-8650
小牧市堀の内三丁目1番地
TEL：0568-76-1107 (平日8:30～17:15)
FAX：0568-75-5714

再生紙使用

主催：一般社団法人小牧青年会議所・小牧市

こまき市民討議会 まちづくりミーティング2013

○ 市民討議会 ～市民参加の新しい手法～

- 市民討議会は、ドイツなどで行われている「ブラーヌンクスツェレ（計画細胞）」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民がまちづくりの課題などについて話し合い、そこで出された意見や提言をまとめ、課題解決へ活かす新しい市民参加の手法です。これまで市政やまちづくりに声を届ける機会の少なかったサイレントマジョリティー＝「物言わぬ大勢」と言われる市民の参加を促し、討議（話し合い）を通じて、「市民自ら、自分達のまちは自分達で創ることの大切さ」を考える機会となるよう開催するものです。

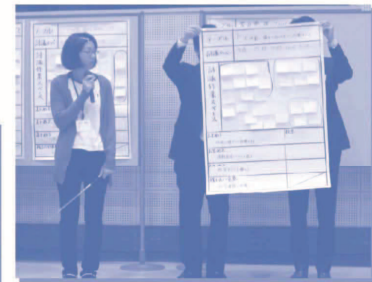
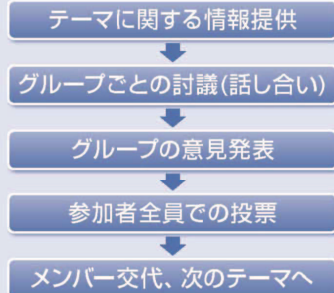
市民討議会ってなに？



● ● ● ● ● 特 徴 ● ● ● ● ●

- ①無作為抽出により参加の案内を行います。
- ②参加者には謝礼が支払われます。
- ③グループ討議は提示されたテーマごとに少人数に分かれて行います。討議の結果を発表後、参加者全員による投票を行います。
- ④討議の前に専門家や行政担当から討議の基礎となる情報を提供しますので、専門的な知識は不要です。

— 当日の討議の流れ —



◆発表の様子◆

◆グループでの討議の様子◆

■ 昨年参加者の声

- 普段意識しない意見や問題に触れることができてよかった。
- 小牧市のことを少し考えるきっかけになりました。
- テーマについて認識するよい機会となりました。

/// 参加者決定の流れ

- 参加案内（8月下旬予定）
無作為抽出した20歳以上の小牧市民2,000人に市民討議会参加の案内を郵送します。
- 参加承諾書およびアンケートの記入をして市へ返送
- 参加承諾書の受領・参加者決定
参加定員は40人予定（申込者多数の場合は抽選）
- 参加決定通知（9月下旬予定）
参加いただく方へ郵送します。

昨年の様子が小牧市ホームページ内に掲載されています。ぜひご覧ください。
<http://www.city.komaki.aichi.jp/koho/kocho/5417/005401.html>

（「こまき市民討議会」は（一社）小牧青年会議所と小牧市の協働事業です。）

参加案内が届きましたらぜひご参加ください！

参加決定通知書

平成25年9月吉日

様

一般社団法人小牧青年会議所 理事長 中野 康孝
小牧市長 山下 史守朗

こまき市民討議会「まちづくりミーティング2013」参加決定のご案内 について

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびは、こまき市民討議会「まちづくりミーティング2013」に参加承諾をいただき、誠にありがとうございました。無作為抽出により2000人の市民の方々へ参加のご案内をしましたところ、定数を上回る多数の参加ご承諾をいただきました。

そこで、抽選を行った結果、_____様 におかれましては、

「ご参加いただく」 こととなりましたことをご連絡いたします。

なお、当日のスケジュール等を同封しましたので、お手数ですがご確認いただき、開催当日に会場までお越しくださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 平成25年10月27日(日) 10:00~16:30
(受付開始 9:30~)
2. 場所 小牧市公民館 講堂(小牧市小牧二丁目107番地)
3. 持ち物 ・参加決定通知書(本状)
・筆記用具
・印鑑

4. その他

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

一般社団法人小牧青年会議所
(市民討議会担当)
小牧市小牧5丁目253番地
(小牧商工会議所会館5階)
TEL 0568-72-0496
FAX 0568-72-1950
受付時間:(平日)10時~15時

小牧市役所
市長公室 協働推進課 広聴係
小牧市堀の内3丁目1番地
TEL 0568-76-1107
FAX 0568-75-5714
受付時間:(平日)8時30分~17時15分

こまき市民討議会 ～ まちづくりミーティング2013 ～ 参加者へのご案内



一般社団法人小牧青年会議所

◆ 開催趣意

近年、地方自治体は市民の声を市政に生かすため、市民アンケート・ヒヤリング・市政公募・タウンミーティング・市民会議などに取り組んでいますが、これらに参加する市民はそれぞれの分野に興味を持ち、時間的にも比較的に余裕のある限られた市民が多い事が想定され、限られた参加者により意見が集約されているのではないのかと懸念されています。

これはどの自治体でも例外ではなく、社会全体の市民、無関心層やサイレントマジョリティー（物言わぬ大勢）といった多くの市民を巻き込んだ真の市民自治による協働のまちづくりをさらに推進していくため、市民参加型の新たな手法を取り組む必要があります。

この様な状況の中、2005年（社）東京青年会議所が普段会社勤め、学生、主婦といった普通の生活をする市民が市政に対して生の声を届けるために、市政に反映されるため、新たな市民参加型の可能性を検証するために「市民討議会」を開催しました。

この市民討議会は、ドイツなどヨーロッパで行われている「プラーヌクスツェレ（計画細胞）」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民がまちづくりの課題などについて話し合い、そこで出された意見や提言をまとめ、課題解決へ活かす新しい市民参加型の手法です。しかし、私たち一般社団法人小牧青年会議所は「市政が何をしてくれるのか？ではなく、自分たち自身、参加した市民自ら何が出来るか？」を話し合い、市民自治の実現に向けて「明るい豊かなまち」を創造することを目的とし、昨年に引き続きまして今年で2回目となります「こまき市民討議会 まちづくりミーティング2013」を開催します。そして皆様が、この市民討議会で得た経験を皆様の住む地域で活かしていただくことが私たち（一社）小牧青年会議所一同の願いです。

◆開催概要

1. 日時

平成25年10月27日（日）10：00～16：30（受付開始 9：30～）

2. 会場

小牧市公民館 講堂（小牧市小牧二丁目107番地）（別記地図参照）

3. 持ち物

- ・参加決定通知書
- ・筆記用具
- ・印鑑

4. 当日のタイムスケジュール

9:30～10:00		受付開始
10:00～10:15	（15分）	開会のあいさつ・討議(話し合い)方法の説明
10:15～10:25	（10分）	討議テーマ①の情報提供
10:25～11:25	（60分）	討議テーマ①の話し合い
11:25～11:35	（10分）	休憩
11:35～12:30	（55分）	グループ別の意見発表・投票・まとめ
12:30～13:30	（60分）	昼食
13:30～13:40	（10分）	討議テーマ②の情報提供
13:40～14:40	（60分）	討議テーマ②の話し合い
14:40～14:50	（10分）	休憩
14:50～15:45	（55分）	グループ別の意見発表・投票・まとめ
15:45～16:30		全体のまとめ・閉会のあいさつ・事務連絡・解散

5. 謝礼

ご参加いただいた方へ、謝礼3,000円（所得税・復興特別税分を差し引いております。）をお渡しします。お渡しの際に領収印を頂戴いたしますので印鑑をご持参下さい。

6. 討議のテーマ

討議は2回行いますが、それぞれテーマが異なります。討議のテーマは次のとおりです。

テーマ①	地域（市民）で考える防災・減災について
テーマ②	小牧の魅力・愛着について

7. 昼食について

参加承諾の際に希望された方には、お弁当をお渡しします（500円実費負担）。また昼食の休憩時間内であれば、会場の出入りは自由です。

8. グループ及びメンバー交代

討議は、少人数（5名程度）のグループに分かれて行います。グループのメンバーは主催者があらかじめ決定し、皆様へは当日お伝えします。また自由に活発な話し合いになるように、グループのメンバーはテーマごとに交代します。

9. 参加決定後のキャンセル

参加決定の通知後、諸事情により参加できなくなってしまった場合は、速やかにご連絡をお願いします。

10. 実施報告書の提出

市民討議会という新たな市民参加の手法の実施概要及び皆様の討議された内容については、実施報告書を作成し、小牧市へ提出します。

報告書の完成は12月下旬を予定しており、ご参加いただいた皆様へも送付させていただきます。

11. 今後の連絡先

一般社団法人小牧青年会議所（市民討議会担当）

小牧市小牧5丁目253番地（小牧商工会議所会館5階）

TEL 0568-72-0496 FAX 0568-72-1950

受付時間：(平日)10時～15時



(別記：会場地図)



平成25年9月吉日

様

一般社団法人小牧青年会議所 理事長 中野 康孝
小牧市長 山下 史守朗

こまき市民討議会「まちづくりミーティング2013」抽選結果のお知らせ

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびは、こまき市民討議会「まちづくりミーティング2013」に参加承諾をいただき、誠にありがとうございました。無作為抽出により2000人の市民の方々へ参加のご案内をいたしましたところ、定数を上回る多数の参加ご承諾をいただきました。

そこで、抽選を行った結果、_____様 におかれましては、
残念ながら、ご参加いただけない結果となりましたことをご連絡いたします。
誠に申し訳ございませんが、ご了承いただきたく存じます。

なお、討議（話し合い）にご参加いただくことはできませんが、見学は自由ですので、ご都合の許す限りぜひ会場へ足をお運びください。

今後とも小牧市の市民参加の促進、まちづくりの発展にご助力賜りますようお願い申し上げます。

※ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

一般社団法人小牧青年会議所 (市民討議会担当) 小牧市小牧5丁目253番地 (小牧商工会議所会館5階) TEL 0568-72-0496 FAX 0568-72-1950 受付時間:(平日)10時~15時
--

小牧市役所 市長公室 協働推進課 広聴係 小牧市堀の内3丁目1番地 TEL 0568-76-1107 FAX 0568-75-5714 受付時間:(平日)8時30分~17時15分
--

こまき市民討議会

～ まちづくりミーティング2013 ～

日時 10月27日(日)午前10時～午後4時30分

場所 小牧市公民館 講堂

討議テーマ

- ① 地域（市民）で考える防災・減災について
- ② 小牧の魅力・愛着について

× ㄷ

A large rectangular box with a solid black border, containing 25 horizontal dotted lines spaced evenly down the page, intended for handwriting practice.

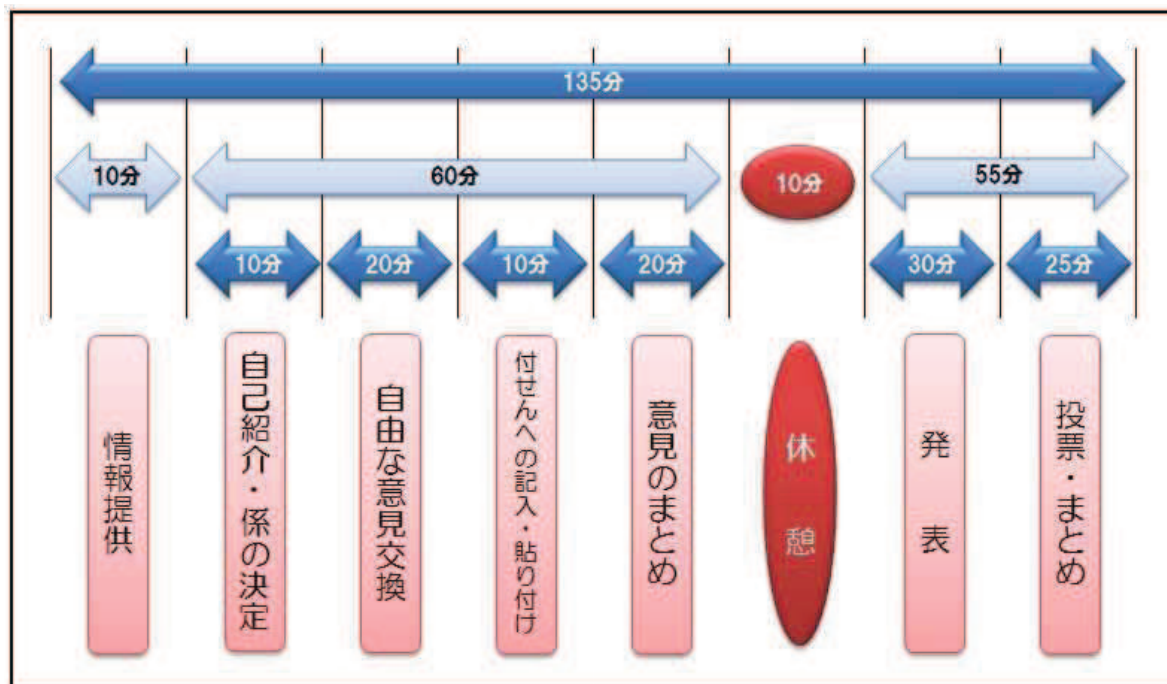
◆ 本日のスケジュール

9:30~10:00	受付開始
10:00~10:15	開会のあいさつ・討議(話し合い)方法の説明
10:15~10:25	討議テーマ①の情報提供
10:25~11:25	討議テーマ①の話し合い
11:25~11:35	休憩
11:35~12:30	グループ別の意見発表・投票・まとめ
12:30~13:30	昼食
13:30~13:40	討議テーマ②の情報提供
13:40~14:40	討議テーマ②の話し合い
14:40~14:50	休憩
14:50~15:45	グループ別の意見発表・投票・まとめ
15:45~16:30	全体のまとめ・閉会のあいさつ・事務連絡・解散

◆ 討議の進め方

1. 討議（話し合い）の流れ

討議は、少人数のグループに分かれて、テーマごとに毎回新しいメンバーで行います。テーマごとの討議の流れは以下のとおりです。時間はおおむねの目安です。



2. 討議の手法について

- ・ 1テーブル約8名で行います。（市民6名、進行役(ファシリテーター)2名）
- ・ テーマごとにグループのメンバーはシャッフルします。
- ・ 討議では、大きな作業用紙（模造紙）と付せんを使って、皆さんの意見を出し合い、話し合いを通してグループの意見をまとめていきます。グループの討議の進行は各グループを担当する進行役（ファシリテーター）が補助します。

【手 順】

（1）テーマについての情報提供

情報提供者からテーマについての情報提供を受けます。

（2）進行役からの説明と自己紹介・係の決定

- ① 進行役から挨拶があり、テーマの内容や討議の進め方などを簡単に説明します。
- ② 皆さんそれぞれ15秒程度で自己紹介をし、グループ内での係(役割)を決めます。
 - ・ 書記係・・・グループ内でまとめた意見や残したい意見を記入する係
 - ・ 発表係・・・グループを代表して皆さんへ発表する係

（3）自由な意見交換

- ① 係が決まったら、テーマについて意見交換を行います。恥ずかしがらず、テーマについて思いつく自分の意見やアイデアを、グループのメンバーに伝え、意見交換を行います。
- ② 自由な意見交換にはルールがあります。
 - ・ 「さん」づけで呼び合みましょう。
 - ・ 批判しない
良い意見が出にくくなるので、他人の意見の批判はやめましょう。
 - ・ 質より量
必ず1人1つ以上の意見を出していただき、より多くのアイデアを収集しましょう。
 - ・ 自由で柔軟な発想
出た意見が実現可能かは考えないで下さい。こんなことを言ったら笑われるかもしれないと思ったアイデアが、実は良いアイデアだったりしますので、恥ずかしがらずにどんどん意見を出しましょう。
 - ・ 他の人の意見に便乗
他の人の意見に自分のアイデアを加えて新たな発見にしたり、連想して意見を膨らませてみたりしましょう。

(4) 付せんへの記入・貼り付け

- ① 意見交換の後、自分の意見を付せんに書き出します。できるだけたくさん書き出してください。
 - ・アイデア1個につき1枚の付せんを使用します。
 - ・要素が分かれるアイデアや意見は2枚以上の付せんを使ってください。
 - ・単語やキーワードでもOKです。
 - ・大きな字で書きましょう。
- ② ある程度、付せんの書き出しが終わったら、記入した付せんを作業用紙（模造紙）に貼り出しながら、さらに意見交換を行います。皆さん積極的に意見を出し合ってください。
- ③ 話し合いの中で新しく思いついたり、他の人の意見を聞きながら思いついたりしたアイデアもどんどん付せんに書き、貼り出していきます。
- ④ 皆さんから出された付せんを同じような意見や種類に分ける「グルーピング」を行います。
 - ・作業用紙（模造紙）に貼り出された付せんを同じ意見や似たような意見毎にまとめていきます。
 - ・どの意見にも属さない意見は、無理にグループ分けせず、1つのグループとします。
- ⑤ いくつかのグループができたら、さらに大きなブロックにまとめてみます。こちらでも無理にブロック分けをする必要はありません。
 - ・関連性が分かるように線で結んだり、囲ったりしても良いでしょう。
 - ・主旨が分かるように、タイトルを付けてみるのも良いでしょう。

(5) 意見のまとめ

グループ分け、ブロック分けがある程度できたら、3つの意見にまとめます。グループ分けやブロック分けを見ながら、個別のアイデアにも戻り、どのようなアイデアがグループの意見として良いかを話し合います。3つの意見にまとめられたら、作業用紙（模造紙）の「まとめ1～3」欄に記入します。

- ・その後の発表、投票がしやすいように、分かりやすく工夫しましょう。
- ・3つに分けてまとめられない場合は、1つや2つでもOKです。
- ・グループの意見には入らないが、どうしても残したい意見は一つだけ「残したい意見」欄に記入します。

(6) 発表

各グループの発表係が、順番に発表します。

- ・発表時間は、1グループ約3分です。
- ・発表内容は、付せんに書かれた代表的な意見をいくつか挙げ、このようなまとめになったという形でOKです。もちろん起承転結で発表していただいてもOKです。
- ・自分たちのグループの意見・まとめに自信を持って、発表は大きな声で行います。

(7) 投票

全グループの発表が終わったら、自分が良いなと思った「まとめ」に投票を行います。

- ・投票の対象は「まとめ」であり、「残したい意見」には投票しません。
- ・投票シールは1人につき7枚です。1つずつ違うところに貼っても、1つのところに複数枚貼ってもOKです。
- ・他のグループの「まとめ」だけでなく、自分のグループの「まとめ」にも投票できます。

討議テーマ資料

① 地域（市民）で考える防災・減災について

APLA 小牧防災リーダー会

② 小牧の魅力・愛着について

小牧市役所 市長公室 市政戦略課

こまき市民討議会
 まちづくりミーティング2013
 ～地域(市民)で考える
 防災・減災について～

平成25年10月27日(日)

場所:小牧市公民館 講堂

☆

主催:一般社団法人小牧青年会議所・小牧市

監修:小牧市危機管理課

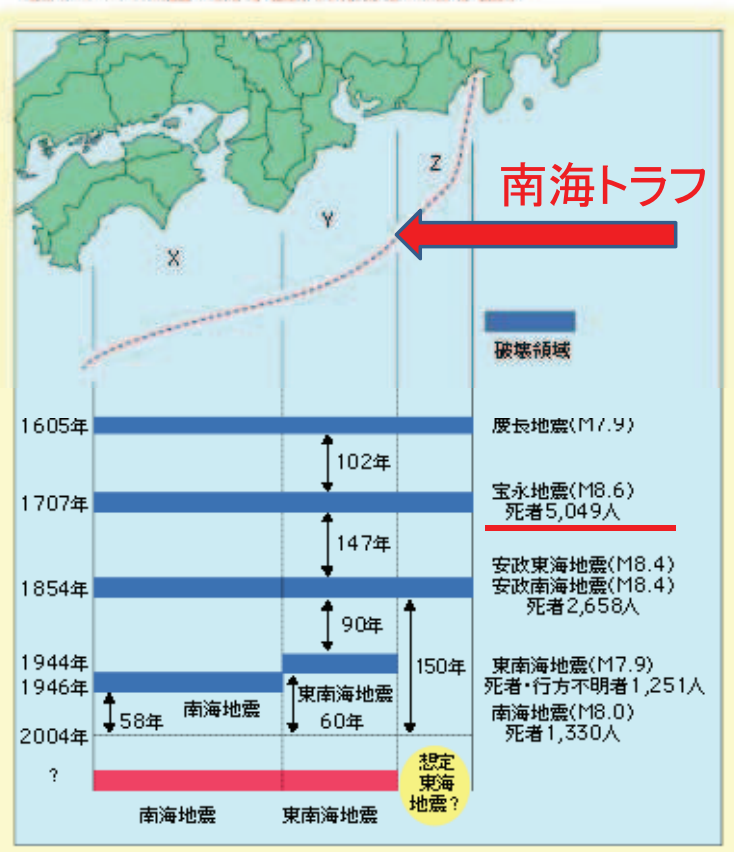
編集:小牧防災リーダー会

地震史の教訓

海溝型地震
 (地震3兄弟)
 東海
 東南海
 南海

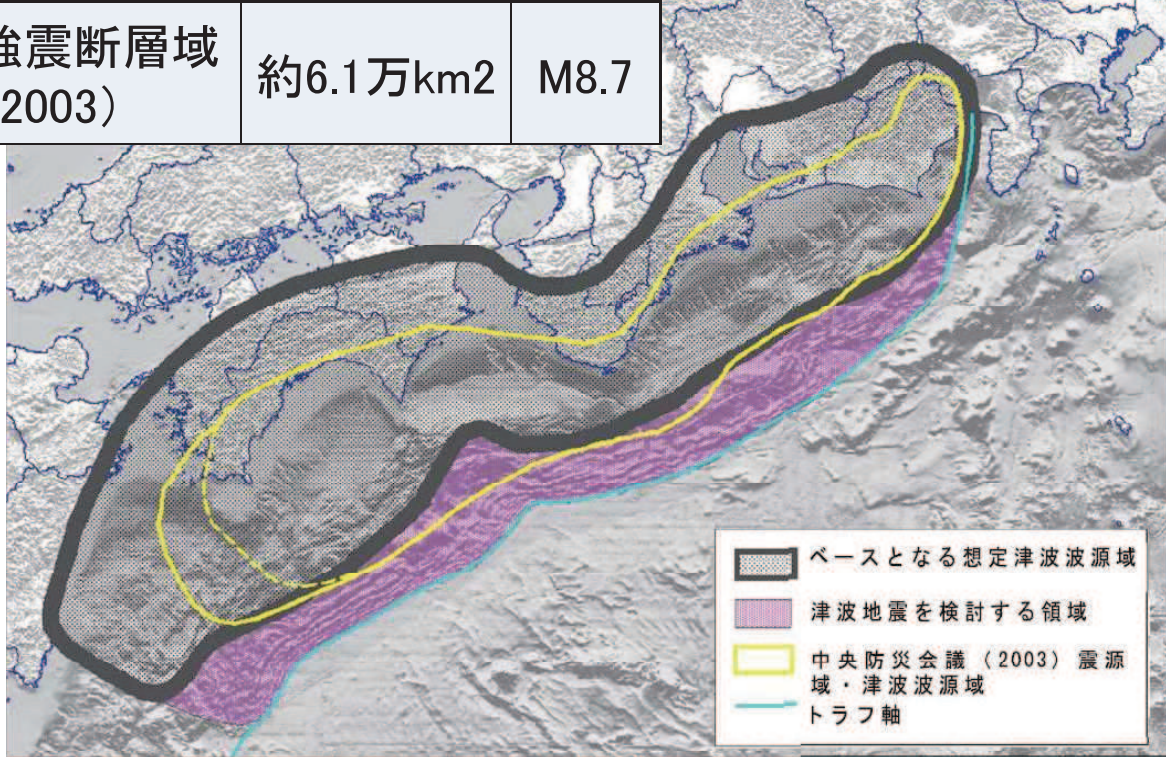
社会の大変革
 が起こる

第1-7-2図 東海地震と東南海・南海地震



強震断層域	約11万km ²	M9.0
津波断層域	約14万km ²	M9.1
強震断層域 (2003)	約6.1万km ²	M8.7

南海トラフ巨大地震
24.3.31中央防災会議



※海底地形図は海上保安庁提供データによる

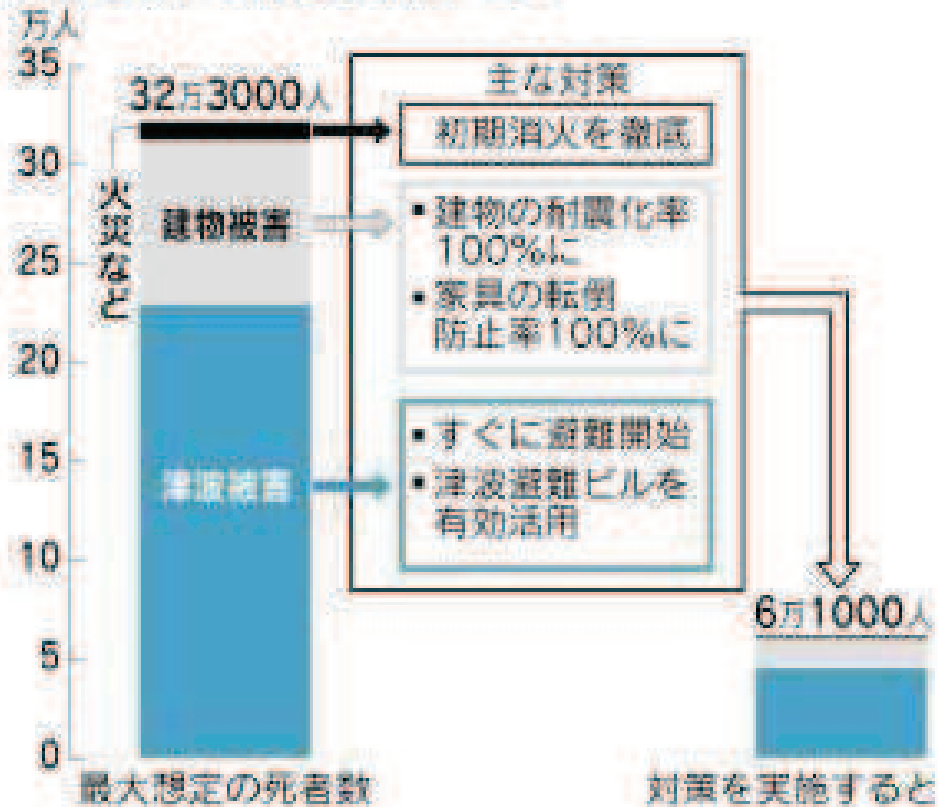
南海トラフ巨大地震被害 最悪想定

24.8.29中央防災会議専門部会発表

大きく被災	九州	四国	近畿	東海
全国の死者(人)	22万9千	22万6千	27万5千	32万3千
全国の負傷者(人)	61万人	61万2千	61万5千	62万3千
全壊と焼失建物(棟)	238万6千	236万4千	237万1千	238万2千

試算：震源を移動させて試算した被害想定

対策を取れば死者は減らせる



愛知県の被害想定

	全壊・焼失数(棟)	死者数(人)
揺れ	24万3千	1万5千
津波	2600	6400
火災	11万9千	1800
急傾斜地崩壊	400	50
液状化	2万3千	—
合計	38万8千	2万3千

住民の七割が十分以内に避難を始め、津波避難ビルが有効に機能するなど最大限の対策が達成されれば、死者は二割未満に減らすことができる

昭和東南海・南海地震前後の活動期

発生	地震	M	死・不明	内愛知県
1891	濃尾地震	8.0	7,273	2,339
1894	庄内地震	7.0	726	
1923	関東大震災	7.9	105,385	
1925	北但馬地震	6.8	428	
1927	北丹波地震	7.3	2,925	
1943	鳥取地震	7.2	1083	
1944	東南海地震	7.9	1,223	423
1945	三河地震	6.8	2,306	2,306
1946	南海地震	8.0	1,443	
1948	福井地震	7.1	3,769	

※1941年大東亜戦争開戦～1945 終戦

地震災害：濃尾地震 M24.10.28(1891)

小牧市史・中央防災会議資料

	死者	重軽傷	住宅全壊	死者/全壊
小牧市	8	56	563	1.4%
愛知県	2,459	6,736	34,494	7.1%
岐阜県	4,990	12,783	50,125	10.0%
全国	7,469	19,694	85,848	8.7%
名古屋市	181	801	1,914	9.5%
岩倉村	35	不詳	600	5.8%
犬山町	32	不詳	296	10.8%

※小牧町 6名(火災5件:消火)、岩崎村 1名、境村 1名

震災目撃 出たまま紀行

犬山壮年会雑誌 第34号 北尾 鼎

- 一行が名古屋から濃尾平野を北に犬山に向かったのは、震災から数日たってからのことである。(中略)
- 東春日井郡小牧町まで来ると、「惨状 清水より甚だし、上の町、横町の如きは十分の九以上崩壊潰倒せり、岩崎村の藤の棚又殆ど崩壊せり」というように被害は一層甚だしいものになった。

地震の活動期に入った ※伏在活断層

95.1.17	阪神・淡路大震災	死者6,433人
00.10.6	鳥取県西部地震	負傷100人以上
01.3.24	芸予地震	死者2人
04.10.23	新潟県中越地震 ※	死者68人
05.3.20	福岡沖地震 ※	死1. 負傷196人
07.3.25	能登半島沖地震 ※	死1. 負傷331人
07.4.15	三重中部地震(亀山)	負傷12人
07.7.16	新潟県中越沖地震 ※	死11 負傷1900人
08.6.17	岩手・宮城内陸地震※	死・不明23.負448人
09.8.11	駿河湾地震 ※	死1 負傷122
11.3.11	東日本大震災	死・不明約2万人弱

小牧市で被害が想定される地震

広報こまき 平成25年9月1日号

海溝型地震

例 南海トラフ巨大地震

(静岡県駿河湾から宮崎県日向灘までの広い範囲を震源とする地震)

本市における**最大予測震度: 6強**

本市における建物の全壊・焼失棟数:

約400棟⇒救出・消火＝共助
(負傷(死)・火災)

- ・ ※県発表の被害予測調査による

地震に備えて(自助)

愛知県地震防災推進条例第5条 県民の責務

1 建築・工作物の 耐震性の確保	生存空間の確保
2 家具の 転倒防止	
3 出火の防止	耐火・不燃・難燃
4 初期消火に必要な用具の準備	用水・消火器
5 食料、飲料水及び医薬品の確保	最低3日⇒7日分
6 避難地	避難場所
7 家族間の 連絡方法	安否確認
8 自己の安全を確保	行動マニュアル
(別件) 災害時の犯罪から身を守る	事例による

少子高齢化社会 平成25年9月

人口	75～79歳	80～89歳	90歳以上	合計	%
153,548	6,185	5,703	1,058	12,946	8.4%

高齢化社会	7～14%	
高齢社会	14～21%	
超高齢社会	21%以上	平成19年日本 21.5%

協働社会の中で、災害時要援護者対策を進めて行く

それぞれの年齢層が地域のために役割を分担しながら出来ることを行う

65～74歳～は、地域社会の防災・減災の担い手

自ら身を守る

自助 7 共助 2 公助 1

「継続は力ない」

自然は過去の習慣に忠実である

寺田寅彦の名言

それゆえに災害は必ずやってくる

完

《小牧の魅力・愛着について》

小牧市地域ブランド調査の結果（抜粋）



趣旨・目的

- ◆ 少子高齢化や人口減少社会の到来、地域主権時代の進展により、今後、自治体間の競争がますます激化していくものと推測されている。
- ◆ こうした中、これからは、地域全体を一つのブランドとして、他地域との差別化を図りながら、
訪れたいまち 住みたいまち 住み続けたいまち
として選ばれる、魅力あるまちづくりを行なっていくことが必要である。

小牧市

市民に“住んでよかった・住み続けたい・住んでいることが自慢である”と実感してもらうことで、選ばれる・魅力あるまちをめざしたい。

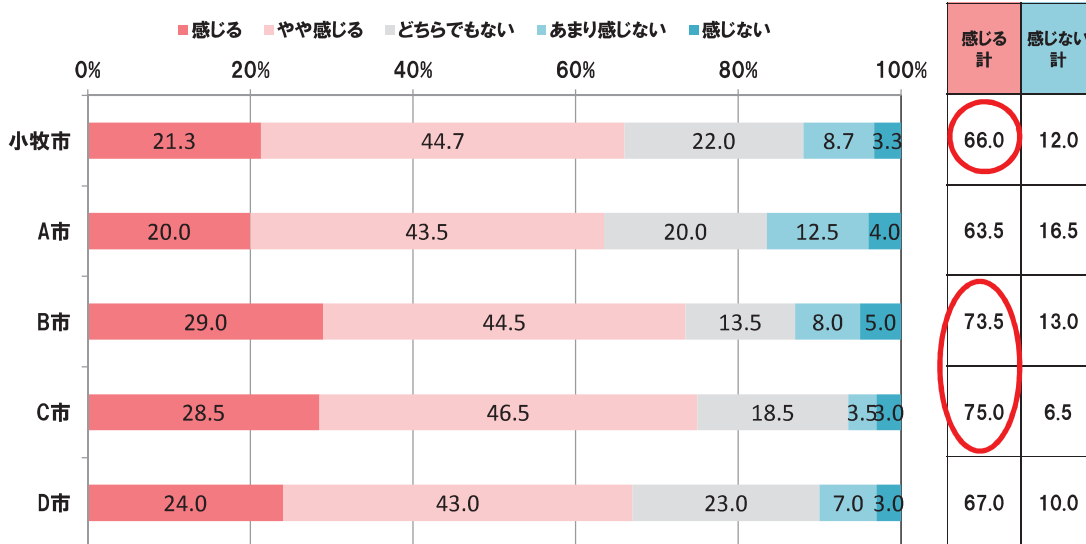
目的

継続居住意向を高めること。
またその一因になっている、小牧市民の「愛着・誇り」を高めること。

現状を把握するため、小牧市地域ブランド調査を実施する。

愛着・誇りの現状 (調査結果の概要)

- ◆ 愛着・誇りを感じている小牧市民は6割強と他市よりも低い傾向。
- ◆ 居住地別にみると、B市、C市で愛着・誇りを感じる傾向が高く7割を超えるが、小牧市はA市に次いで低い。
- ◆ ただし、愛着・誇りがある理由として、他の要素もあるが、次ページにあるとおり、「住みやすい」「子どもを育てやすい」などの要素が挙げられていることが特徴的である。



注) 数値は回収数を100とした%

-2-

愛着・誇りの理由 / 「住みやすさ」「子どもを育てやすい」 (調査結果の概要)

小牧市民

住みやすい・便利

- ・住みやすいまちです。車の運転もしやすいです。
- ・交通の便はいいし、それなりに静かな環境で暮らせる住みやすいまちである。
- ・土地は安いし、食べ物も大都市に比べて安く、生活しやすい。
- ・都会過ぎず田舎でも無く、比較的大型のスーパーもあり生活しやすい。
- ・地域の行事等に参加するにつれて、生まれ育った場所よりも少しずつ住み心地が良くなってきたから。
- ・大都市である名古屋市に近く、気軽にでかけられる。住居環境が静かで快適。
- ・名古屋までの交通の便が良い。外食施設が多い。歴史的史跡が多い。
- ・自然がいつでも交通網の発達した衛星都市である。
- ・交通の要所でどこへ行くにも便利であること。
- ・東名、名神、中央道が集まっており、車での旅行に便利。
- ・大型電気店やスーパーなども充実していて車があれば便利だから。
- ・生活に必要な店や施設は一通りそろっているので、生活に便利です。

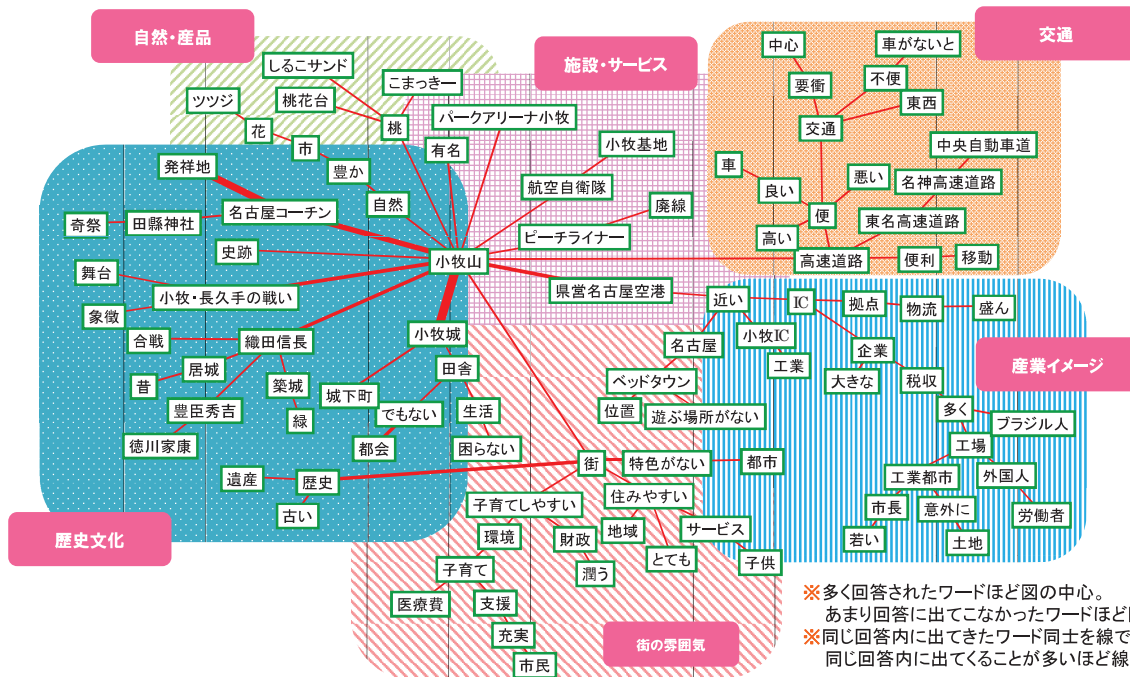
子どもを育てやすい

- ・子どものサービスが充実している。
- ・子どもに対する福祉が充実しているから。
- ・中学校までの医療費が無料など、一番良いことだと思います。
- ・若い両親にとって、子どもの医療費が無料はとても助かると好評です。
- ・住みやすい地域だから愛着を感じる。子どもの生活環境もよい。
- ・子育てをこの地でできて、地域とのかかわりを感じている。
- ・お祭りなどもあり子どもが楽しめる行事がたくさんある。
- ・程よく自然があるため、子どもの遊ぶ環境はよいと思う。
- ・環境がいい。子ども手当や医療費などが充実している。
- ・病院も充実していて子どもに対しても補助があるので助かります。

-3-

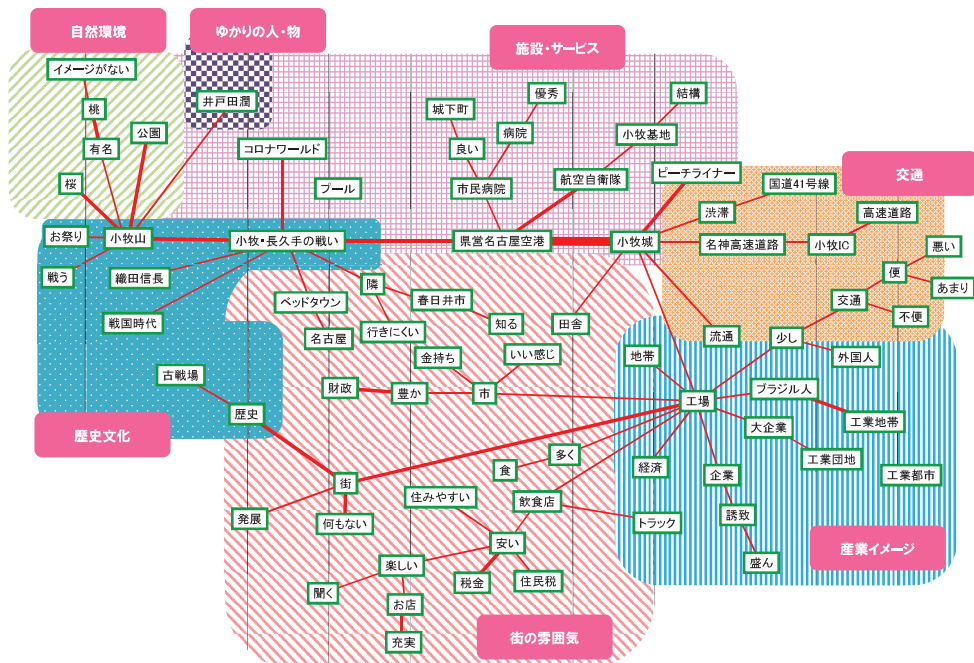
小牧市民の「小牧市」についての連想イメージ（調査結果の概要）

- ◆ 小牧市についての自由連想では、連想の中心に「小牧山」があり、シンボルとなっていることがわかる。
- ◆ 小牧山をシンボルに、連想イメージが「歴史文化」「自然・産品」「施設・サービス」「交通」「産業イメージ」に広がっている。
- ◆ 小牧市の特徴として、「住みやすい」や「子育てしやすい」に、「環境」や「子育て・支援・充実」等の連想が広がっている。



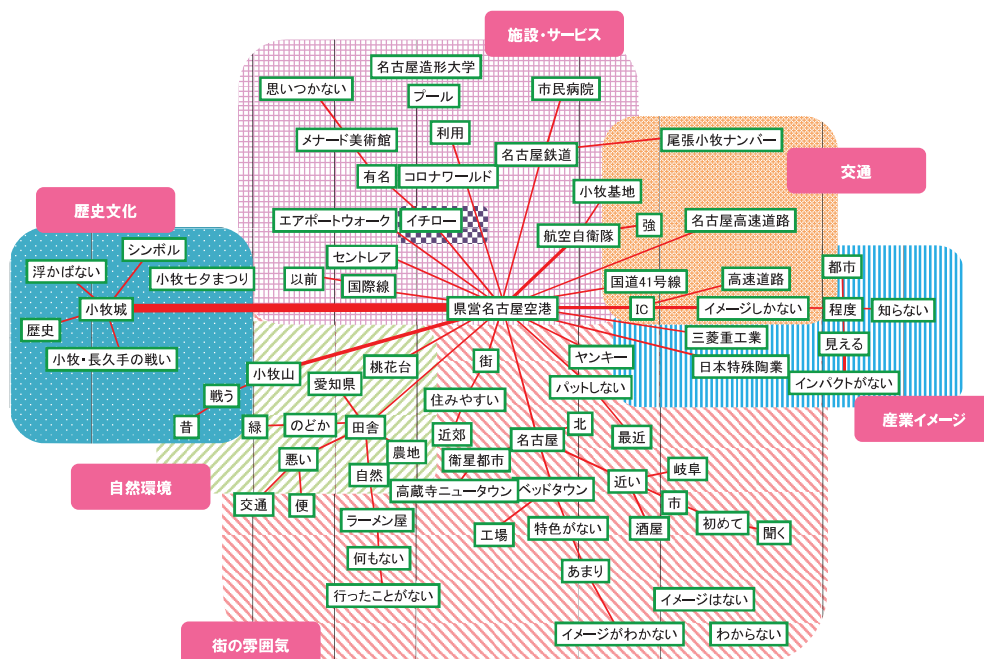
A市民の「小牧市」についての連想イメージ（調査結果の概要）

- ◆ 小牧市民の連想になかった点として「市民病院」「プール」等の施設が連想される。
- ◆ 「住みやすい」「財政・豊か」「税金・住民税・安い」という小牧市へのイメージも連想される。



B市民の「小牧市」についての連想イメージ (調査結果の概要)

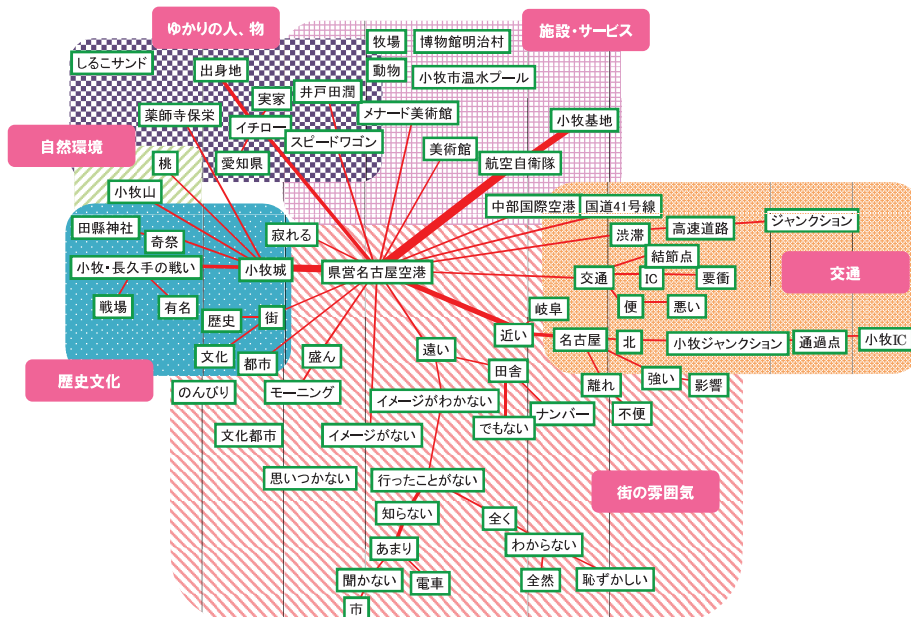
- ◆ 「名古屋造形大学」「市民病院」「メナード美術館」「エアポートウォーク」等の施設や「三菱重工」「日本特殊陶業」といった具体的な企業名が連想されている。
- ◆ 街のイメージとしては「特色がない」「イメージがわからない」など、B市民にとって「個性が無い」という連想イメージとなっている。



-6-

C市民の「小牧市」についての連想イメージ (調査結果の概要)

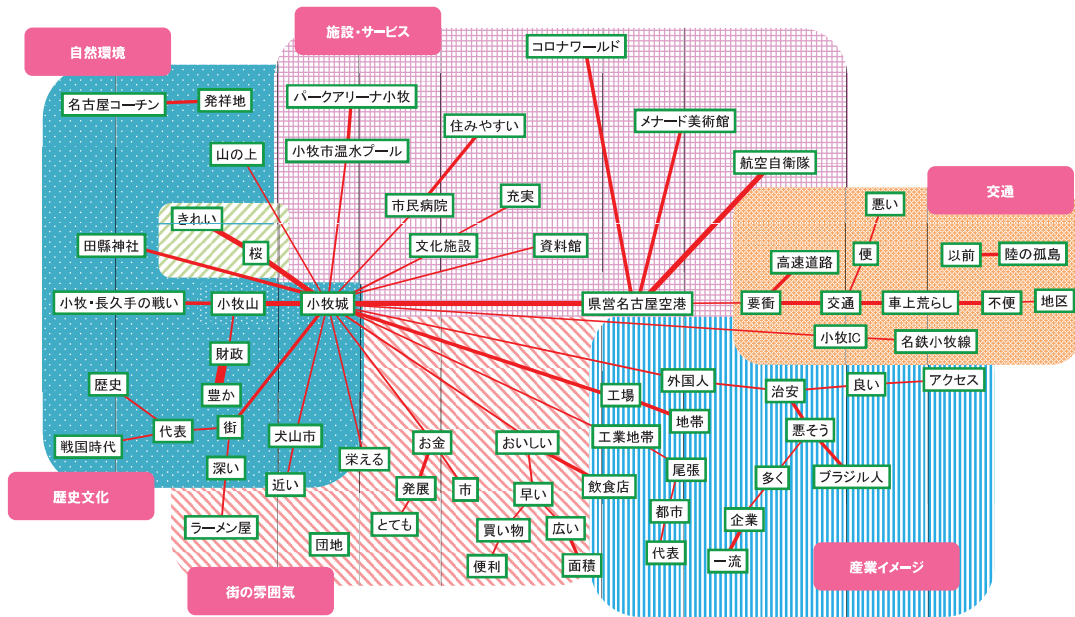
- ◆ 「自然環境」への連想が少なく、「産業イメージ」については連想されていない。
- ◆ 「ゆかりの人物」や「しるこサンド」といった全国的に知名度のある「人・物」について連想される。
- ◆ 「街の雰囲気」についてはイメージがされておらず、施設について「温水プール」や「メナード美術館」が連想される。



-7-

D市民の「小牧市」についての連想イメージ（調査結果の概要）

- ◆ 「歴史文化」「自然環境」「施設サービス」「街の雰囲気」「産業イメージ」「交通」と比較的「小牧市民の連想」と近い。
- ◆ 「名古屋コーチン・発祥地」の連想は小牧市民以外ではD市民のみ。
- ◆ 「財政・豊か」「住みやすい」という小牧市へのイメージも、A市同様に連想されている。



-8-

ブランド資産・価値（調査結果の概要）

- ◆ 小牧市の資産・価値について、以下の項目で評価した。

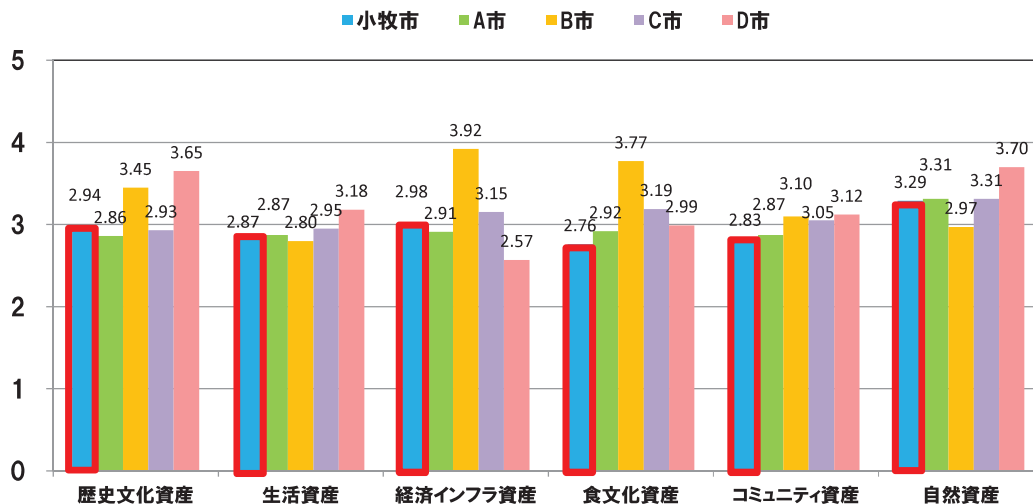
地域ブランド資産	歴史文化資産	歴史的遺産やまち並み、歴史的ストーリー、独自の芸術や芸能といった、歴史や文化に関する資産
	生活資産	物価の安さや住まいの取得のしやすさ、渋滞の少なさ、子育てのしやすさといった生活上の利便性資産
	経済インフラ資産	職場、教育機関、医療機関、商業地域、交通といった生活基盤となるインフラ資産
	食文化資産	食べ物のおいしさや地域独自の食べ物、料理店といった資産
	コミュニティ資産	多様な人々の交流や交わりに関する資産
	自然資産	美しいまち並みや自然環境資産
地域ブランド価値	関係絆価値	人の温かさや心のつながりや絆を感じられること
	自己実現価値	自己の成長を促したり、夢や目標の達成を感じられること
	ゆとり価値	精神的なゆとりや安心を感じられること
	感覚情緒価値	非日常的な感覚を感じられること

-9-

ブランド資産・価値－①資産評価（調査結果の概要）

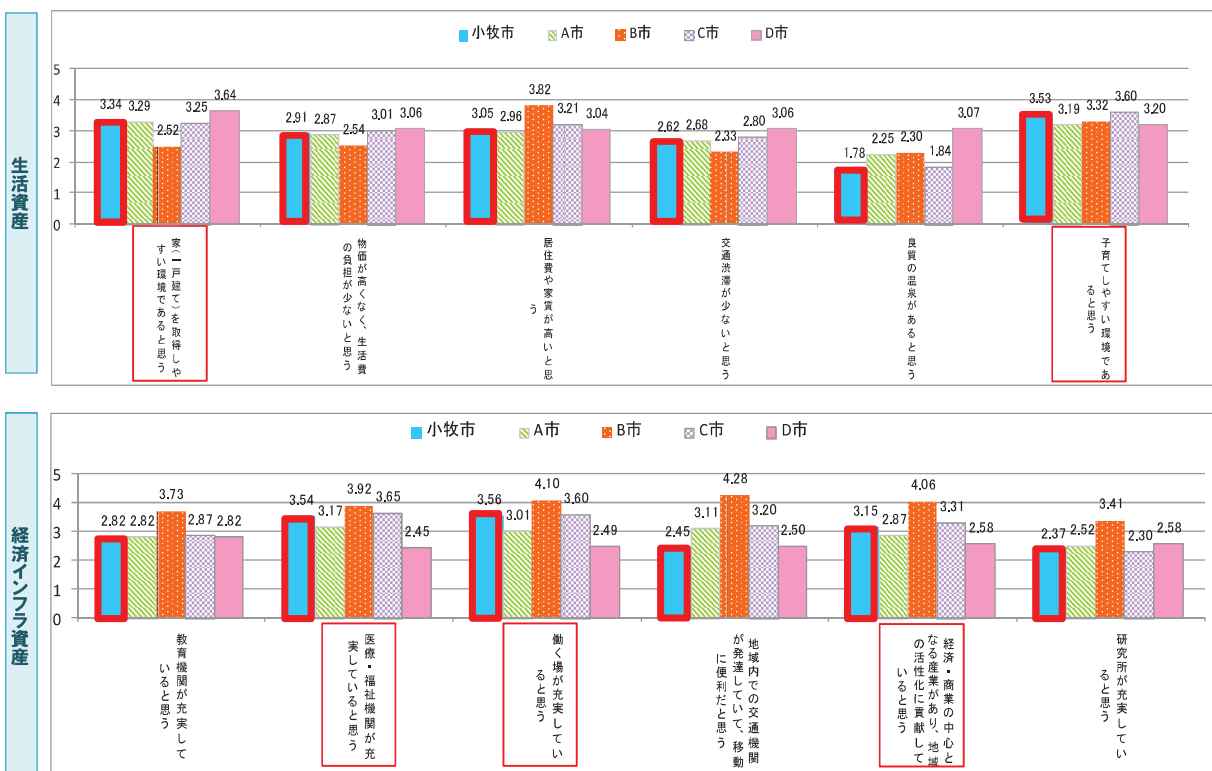
- ◆ 小牧市のブランド資産評価は、美しい公園や自然施設などを表す「自然資産」に対する評価がやや高く、その地域を代表する食べ物を表す「食文化資産」、住民同士の交流や訪問者が触れ合うことができる場を表す「コミュニティ資産」に対する評価は、他の都市に比べて低い状況。
- ◆ また、生活資産の中では「一戸建てを取得しやすい環境」や「子育てしやすい環境」の数値が高く、経済インフラ資産の中では「医療、福祉機関が充実」、「働く場が充実している」や「経済、商業の中心となる産業がある」の数値が高かった。

現居住地域の地域ブランド資産評価



-10-

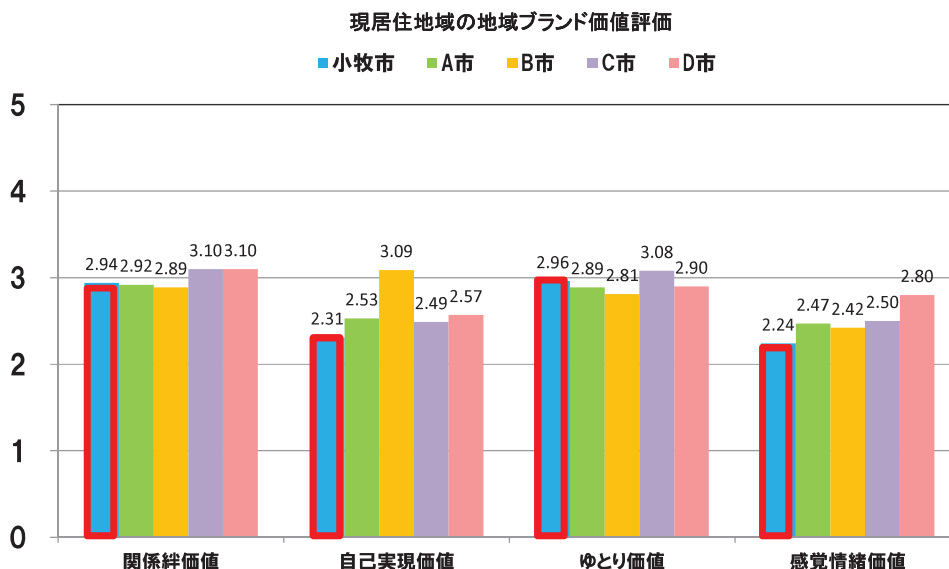
ブランド資産・価値－②資産評価 / 生活資産・経済インフラ資産の詳細（調査結果の概要）



-11-

ブランド資産・価値③価値評価（調査結果の概要）

- ◆ 小牧市の地域ブランド価値は、「自己実現価値」と「感覚情緒価値」が他市と比較すると低い。
- ◆ 感覚情緒価値とは、例えば「神秘的な気分になれると思う」といったイメージを数値化したもの。
- ◆ 自己実現価値とは、例えば「夢や目標に近づくことができると思う」といったイメージを数値化したもの。



-12-

課題の考察（調査結果の概要）

課題

○自由連想からA市、D市などの近隣都市に関しては、小牧市民に近い連想を持っているが、B市、C市の遠方の都市では、県営名古屋空港が連想の中心になるなど、本市のイメージが十分伝わっていないことがわかった。

○「子育てしやすい環境」、「働く場が充実している」などの生活・経済インフラ資産は充実しているが、「愛着・誇り」を高めることを目標としたときに「自己実現価値」と、「感覚情緒価値」の低さがボトルネックとなっている可能性が高い。



本市の地域資産の現状を把握し、有効に活用することにより、小牧市の居住者や来訪者にとって、生活基盤の充足だけではなく、小牧市にある歴史・文化的な資産に対する認識を高めるとともに、自己の成長や夢・目標の達成が感じられるようなまちづくりを行う必要がある。

活用できる資産

- 連想イメージ:「小牧山」「歴史文化」「自然・産品」
「施設・サービス」「交通」「産業イメージ」「住みやすい」
「子育てしやすい」「環境」「子育て・支援・充実」
- ブランド資産:自然資産、生活資産、経済インフラ資産

-13-

個別の資産の選定（調査結果の概要）

- ◆ 庁内で検討組織（PT）を立ち上げ、検討を実施。
- ◆ PTにて、職員アンケートの結果から以下の地域資産20項目を選定。その20項目を小牧市ブランド調査により魅力度と認知度の測定をした。

▼小牧市資産一覧

 <p>パークアリーナ小牧</p> <p>最大約5000人収容の室内型複合スポーツ施設。バレーボール・バスケットボールの世界大会、日本初のイタリア名門クラブACミランのジュニアアカデミーも開催される、高層のスポーツの殿堂。</p>	 <p>小牧山</p> <p>徳長が美濃攻略の居城とし、密濃と秀吉が争った「小牧・長久手の合戦」では家康が本陣を置いた三尖保の地である。国の史跡にも指定され、山頂には天守閣模した小牧市歴史館が建ち、東麓の史跡公園をはじめ市民の憩いの場となっている。</p>	 <p>田縣神社・豊年祭</p> <p>子宝と農業の信仰を結びつけた、延喜式神名簿（平安時代の神社一覽）にも記載される歴史を刻んだ三尖保の地である。毎年行われる「豊年祭」は別荘地を兼ねることで全国的にも知名度が高い祭りで、海外からの関心も高い。</p>	 <p>名古屋コーチン</p> <p>地籍の代表として全国的に知られる小牧産卵品種。明治時代に尾張藩士の海部壮平・正秀兄弟が作出した地が、旧・東春日郡津村村に所在する。卵の色は「赤」で、卵の殻は「赤」で、卵の殻の色も赤いことから「赤卵」の別名がある。卵の殻の色も赤いことから「赤卵」の別名がある。</p>	 <p>桃・ぶどう</p> <p>小牧市は「桃花台ニュータウン」など、桃にちなんだ名前も多い桃の名産地。特に全国にも有名な「おのの地」は遠近から知られている。ぶどう栽培は東海地区の歴史とともに始まり、米作に適さない水はけの良い土地であったことから養蚕、特産品のひとつ。</p>	 <p>小牧市総合公園 市民四季の森</p> <p>ソリスベリの丘や、わんぱく冒険広場、ディスクゴルフ場、パークゴルフ場、動物と触れ合えるびびこ動物村などがある。大人から子どもまで楽しめる施設があり、市外からの来場者も多い憩いやすい場所。</p>	 <p>メナード美術館</p> <p>日本メナード化粧品創業夫婦が中心に収集した、印象派以降のヨーロッパ絵画、明治～平成の日本画・洋画などを中心に、多くの作品を所蔵し、企画展等でも一般公開されている。</p>
 <p>小牧市民病院</p> <p>尾張北部圏圏で唯一の救命救急センターを持ち、がん診療、高度医療を提供している。急性総合診療（OPD）対応病棟の中で「大規模（1階）に次ぐ病院（2階）に認定され、最新のガンマナイフやマルチスライスCTを導入し、最先端の医療を提供する。</p>	 <p>えほん図書館</p> <p>0歳から小学校低学年までの子どもとその保護者を対象とした、近隣には珍しい絵本に特化した施設。再出版して来る絵本は、期間限定で無料貸出する場として利用されている。</p>	 <p>小牧市温水プール</p> <p>最大60cmの流を作ることができる温水プール。全長170mの温水プールをはじめ、球技コート、スパイク、深層スパイク、ネットコート、児童プールが充実した誰もが楽しめるレジャープールです。</p>	 <p>平成夏まつり・小牧市民まつり</p> <p>「平成夏まつり」は行灯山車と華やかなパレードで知られる小牧の夏祭り。小牧市民まつり、市民祭、小牧山、小牧駅を中心としたさまざまなイベントが行われ、三尖保（徳長・秀吉・家康）のバードも行われる。</p>	 <p>間々乳観音</p> <p>木草の手観音像には乳の漏れに御利益があるといわれていて、日本では珍しい「お乳の観音」として知られる。1989年に開かれたお乳まつりがあり、女性の乳漏れをたどった結核菌がある。</p>	 <p>県営名古屋空港</p> <p>県営名古屋空港は、コムロー航空やビジネス機など小型機の拠点空港として、地元企業など多くの利用がある。現在、旅客ターミナルが国内都市（青森、いわて、花巻、新潟、福岡、熊本）と結んで運航されている。</p>	 <p>小牧IC・小牧JCT</p> <p>小牧市には、名神高速道路・東名高速道路の接続点であり、名古屋高速11号小牧線と接続された小牧ICと、名古屋高速道路と中央自動車道の接続点となる小牧JCTがあり、小牧の発展に寄与してきた。</p>
 <p>東海地区をはじめとした豊かな自然</p> <p>小牧市の東海地区には豊かな自然が残っており、「おのの地」や「おのの森」と呼ばれる自然とあふれる景観が数多くあり、市民の憩いの場となっている。また、6月には大牧山でカンザシツバキを見ることもできる。</p>	 <p>織田信長</p> <p>今から約450年前の永禄4年、織田信長は小牧山頂と牧野平野を築き、本願寺を擁護するために14年滞在した。小牧山城とその城下町の跡は、信長自身によるものでは初めてのものと言われ、その後の城下町建設のモデルとなったと言われている。</p>	 <p>航空自衛隊 小牧基地</p> <p>国際平和協力活動の主力となるF130輸送機が配備された国内で唯一の基地である。また、毎年開催される航空祭は、市外からも多くの観覧者が訪れる航空祭は、市外からも多くの人が集まる人気のイベントである。</p>	 <p>大山廃寺跡</p> <p>創建は白鳥時代と考えられている。一帯は「新の宮」延喜寺、東の大山寺と称されるほど隆盛を極めた。現在も塔心礎などの礎石が残り、国史跡として指定されている。</p>	 <p>ラーメン店の出店</p> <p>小牧は、近年、ラーメン店の出店が増えている地域で、情報誌にも取り上げられる人気店も数多くあり、ラーメン新進隊と並びつづいて、子連れなどにも取り上げられ、ラーメン店や業界にも注目されているエリアである。</p>	 <p>小牧市中部公民館プラネタリウム</p> <p>昭和57年7月にオープンし、30周年を迎えたのが東海地区のプラネタリウム。目を魅かす、満天の星空のプラネタリウムで、子どもから大人までを対象とした観望会、天文講座やコンサートなど様々なイベントを楽しむことができる。</p>	

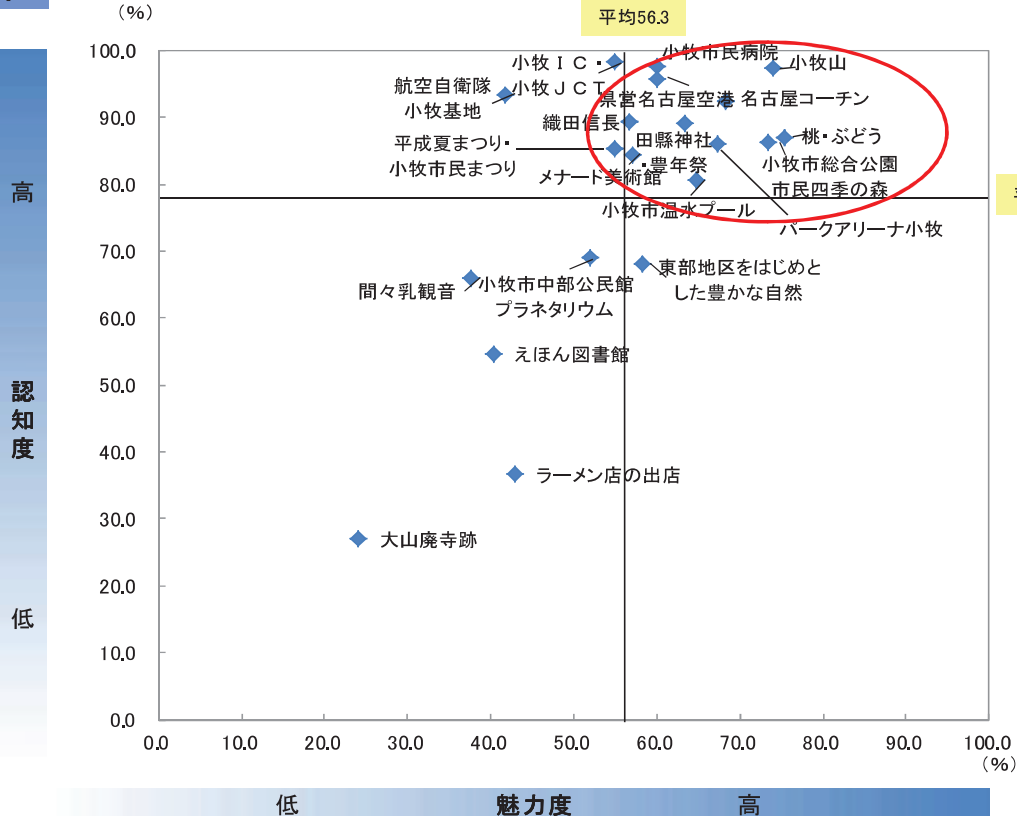
-14-

資産別認知/魅力分析（小牧市）（調査結果の概要）

対象：小牧市民

小牧市

「小牧市」の資産認知度/資産魅力度（N=300）



-15-

資産評価の結果 (調査結果の概要)

◆資産評価の結果から、資産として「魅力が高かったもの」と、庁内PTで「活用できるポテンシャルがある」という意見が出たものは以下の項目

▼小牧市資産一覧

 <p>パークアリーナ小牧</p> <p>最大約5000人収容の屋内複合スポーツ施設。バレーボールやバスケットボールの世界大会、日本初のアジア名門クラブのミニコンプレックスが導入される。高層のスポーツの殿堂。</p>	 <p>小牧山</p> <p>信長が美濃安土郡の居城とし、斎藤と秀吉が争った小牧・長久手の合戦では家康が陣を置いた三英傑の地である。国の史跡に指定され、山頂には天守を模した小牧山天守閣が建ち、東豊の史跡公園をはじめ市民が愛する場となっている。</p>	 <p>田縣神社・豊年祭</p> <p>子宝と農業の豊穡を結びつけた、稲荷式神社(平安時代の神社一説)にも祀られる歴史の古い神社。毎年行われる「豊年祭」は豊年祭を奉納することで全国的にも知名度が高い祭りであり、海外からの関心も高い。</p>	 <p>名古屋コーチン</p> <p>信濃の代表として全国的に知られる小牧産特産品。明治時代に信濃富士の信濃産鶏(正鳥)が作出された地が、旧・東豊目井郡池田村現在の小牧市之内である。卵多量産、肉もおいしく味が濃厚な肉種に分類され、高級食材とされる。</p>	 <p>桃・ぶどう</p> <p>小牧市は「桃産地ニュータウン」など、桃にもんだ名産品が多い産地。特に全国でも高い「おのの桃」は産地として知られている。ぶどう栽培は東豊地区の歴史とともに始まり、近年は東豊地区の歴史とともに始まり、桃にもんだ名産品が多い産地。</p>	 <p>小牧市総合公園 市民四季の森</p> <p>ソリスベリーの丘や、わんぱく遊戯広場、ディスクゴルフ場、バグゴルフ場、動物と触れ合えるちびっこ動物村などがある。大人から子どもまで楽しめる施設であり、市外からの来客も多い憩いから憩いの場。</p>	 <p>メナード美術館</p> <p>日本メナード化粧品創業者夫婦が中心に収集した、印象派以降のヨーロッパ絵画、明治～平成の日本画・洋画などを中心に、多くを展示する施設であり、市外からの来客も多い憩いから憩いの場。</p>
 <p>小牧市民病院</p> <p>東豊北部医療圏で唯一の救命救急センターを有し、がん診療、高度医療を提供している。急性総合診療(COPD)対応病院の中大失血(1群)に次ぐ病院(1群)に認定され、東京のナナイフやマルテスライドCTを導入し、最先端の医療を提供する。</p>	 <p>えほん図書館</p> <p>0歳から小学校低学年までの子どもとその保護者を対象とした。近隣には珍しい絵本に特化した施設。声を出して本を読み、関心を持って本を読む場所として利用されている。児童(1群)に認定され、東京のナナイフやマルテスライドCTを導入し、最先端の医療を提供する。</p>	 <p>小牧市温水プール</p> <p>最大60cmの深さを作ることができる遊水プール。全長170mの遊水プールをはじめ、競泳プール、スライダー、深さプール、ちびっこプール。児童(1群)が充実した施設も楽しめるレジャープールです。</p>	 <p>平成夏まつり・小牧市民まつり</p> <p>「平成夏まつり」は行灯山車と華やかなパレードで夏の小牧の夜を彩り、秋の「小牧夏まつり」は、市民祭典、小牧山、小牧山を中心としたさまざまなイベントが行われ、三葉祭(信長・秀吉・家康)のバレードも行われる。</p>	 <p>関々乳製音</p> <p>木暮の千手観音像には授乳の麗に御利益があるといわれていて、日本では珍しい「お乳のおまじない」が知られる。1989年に開かれた授乳会があり、女性の乳業をかたどった絵画がある。</p>	 <p>県営名古屋空港</p> <p>県営名古屋空港は、コミュニティー航空やビジネス機など小型機の飛来空港として、地元企業との利用がある。現在、旅客増強を図るため、国内各都市(青森、いわて花巻、新潟、福岡、熊本)を結んで運航されている。</p>	 <p>小牧IC・小牧JCT</p> <p>小牧市には、名神高速道路・東名高速道路の接続点であり、名古屋高速1号小牧線と接続された小牧ICと、東名高速道路と中央自動車道の接続点となる小牧JCTがあり、小牧の発展に寄与している。</p>
 <p>東豊地区をはじめとした豊かな自然</p> <p>小牧市の東豊地区には豊かな自然が残っており、自然の恵み「自然の恵み」として、市民の憩いの場となっている。また、8月頃には大山川でゲンジボタルを見ることもできる。</p>	 <p>織田信長</p> <p>今から約450年前の長祿6年、織田信長は小牧山と小牧平野を舞台に、本能寺の変前夜から翌14年(1582年)に、小牧山と小牧平野の戦いで、信長自身によるものでは初めてのものと思われる、その後の信長下野のモデルとなったと言われている。</p>	 <p>航空自衛隊 小牧基地</p> <p>国際平和協力活動の主力となるC130輸送機が配備された国内で唯一の基地である。また、毎年開催される航空祭は、市外からも多くの人が集まる人気のイベントである。</p>	 <p>大山崎寺跡</p> <p>創建は白鳥時代と考えられている。一時は「香の宮」として、信長と秀吉とされる。また、毎年開催される航空祭は、市外からも多くの人が集まる人気のイベントである。</p>	 <p>ラーメン店の出店</p> <p>小牧は、近年、ラーメン店の出店が増加している地域で、情報誌にも取り上げられる人気店も多数あり、ラーメン新進隊となりつつある。芋焼酎などにも取り上げられ、ラーメン店や業界にも注目されているエリアである。</p>	 <p>小牧市中部公民館プラネタリウム</p> <p>昭和7年7月にオープンし、30周年を迎えた小牧市中部公民館プラネタリウム。自然を離れ、満天の星空の中、子どもから大人までを対象とした観望会、天文講座やコンサートなど様々なイベントを楽しむことができる。</p>	

-16-

地域資産の活用

- ◆調査結果から、特に小牧市民の「愛着・誇り」を高める上でのボトルネックは「自己実現価値」と「感覚情緒価値」の低さであることを踏まえ、地域資産の活用とブランドの方向性について検討した。
- ◆資産評価で「魅力が高かった資産」または「活用できるポテンシャルがある資産」については、それらを積極的に活用していく。特に以下の2つの柱についてはブランド戦略を展開していく上で重要と考える。

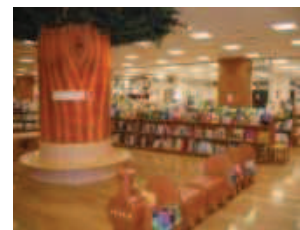
小牧山

「小牧市民のシンボル」として連想の中心にある「小牧山」の活用は、小牧市民へのコミュニケーションとして効果的であり、また、その歴史的な価値とその背景にある物語に対する認識・理解を高めるとともに、小牧山を軸に様々な施策との連携を図ることが可能である。



子ども

「子ども」は「夢や目標の達成」を目指す象徴である。幸いにも「子育てしやすいまち」という意見が多いことから、「子どもの夢や目標」を子どもを中心に両親や祖父母、あるいは地域も関わり合い応援することで、小牧市に対する「愛着や誇り」の醸成に繋がるのではないかと考える。



-17-

《参加者アンケート》

1. 以下の項目について、適当と思われる番号に○を付けてください。
2. (複数回答可)とあるもの以外は、選択肢1つを選んで○を付けてください。
3. 「その他」に○を付けた方は、()に事由をご記入ください。

1. 運営方法について

1. 討議進行での「ファシリテーター」について、どう思いましたか。

- ①必要と思った ②どちらともいえない ③必要ないと思った
④その他 ()

2. 討議の前の「情報提供」について

1. 一つのテーマに対する「情報提供の時間」について

- ①ちょうどよい ②長い ③短い

2. テーマ1「地域(市民)で考える防災・減災について」の情報提供について

説明された情報は、討議に有益でしたか。

- ①有益であった ②どちらともいえない ③有益ではなかった
④その他 ()

3. テーマ2「小牧の魅力・愛着について」の情報提供について

説明された情報は、討議に有益でしたか。

- ①有益であった ②どちらともいえない ③有益ではなかった
④その他 ()

3. 「討議」について

1. グループ内の人数はどうでしたか

- ①ちょうどよい ②多い ③少ない

2. ご自身の発言等について

- ①たくさんの意見が出せた ②ある程度は意見が出せた ③あまり意見が出せなかった

3. 「2」で「たくさんの意見が出せた」「ある程度は意見が出せた」と回答された方

にお聞きします。その理由は何ですか。(複数回答可)

- ①関心のあるテーマであったから ②意見の出し方(付せん記入)がやりやすかったから
③グループの雰囲気よかったから ④ファシリテーターの進行よかったから
⑤その他 ()

4. 「2」で「あまり意見が出せなかった」と回答された方にお聞きします。

その理由は何ですか。(複数回答可)

- ①関心のないテーマであったから ②意見の出し方(付せん記入)がやりにくかったから
③グループの雰囲気が悪かったから ④ファシリテーターの進行がよくなかったから
⑤その他 ()

5. 一つのテーマに対する「討議時間」について

- ①ちょうどよい ②長い ③短い

4. 「発表・投票」について

1. グループ数はどうですか。

- ①ちょうどよい ②多い ③少ない

2. 一つのグループに対する「発表時間」はどうですか。

- ①ちょうどよい ②長い ③短い

5. 開催について

1. 日数について

- ①1日間が適当 ②2日間が適当 ③もっと長い方がよい（3日以上）

2. 参加者への謝礼について（1日間の開催として）

- ①ちょうどよい（3千円） ②4千～5千円程度が適当
③3千円未満が適当 ④謝礼は必要ない
⑤その他（ ）

3. 今回の「市民討議会」に参加して有意義でしたか。

- ①大変有意義であった ②どちらともいえない ③有意義でなかった

4. 今回参加してみて、市民討議会という手法が市民の市政への参加意識を高めることに効果があると思いますか。

- ①ある ②どちらともいえない ③ない

5. 参加してみて、自分たち自らまちづくりに対して何ができるのか実感はわきましたか。

- ①わいた ②どちらともいえない ③わかなかった

6. その他

1. 今後、市民討議会を開催するとしたら、どのようなテーマが適当だと思いますか。

(自由記述)

2. その他ご意見があれば、ご記入ください。

(自由記述)

3. 今後、市民討議会を開催する場合、運営側としてご協力いただけますか。

- ①はい ②どちらともいえない ③いいえ

ご協力ありがとうございました。